



日看協発第 237 号
令和元年 8 月 7 日

一般社団法人 全国訪問看護事業協会
会長 尾寄 新平 様

公益社団法人 日本看護協会
会長 福井 トシ子



2019 年度 小児在宅移行支援指導者育成研修（試行事業）のご連絡

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本会事業の推進に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、小児の在宅移行支援を推進するために、総合・地域周産期母子医療センターの看護職を対象にした研修プログラム開発を目的に、標記の研修会を試行事業として実施しております。（別紙参照）

本研修プログラムは、医療機関の NICU/GCU に勤務する看護職が、在宅における療育生活の実際の理解と在宅療養支援に関わる訪問看護師等の役割を理解するため、訪問看護ステーションへの見学実習（同行訪問）が含まれております。

医療機関から貴会会員の訪問看護ステーションに、ご依頼がございましたらよろしくお取り計らいの程、何卒よろしくお願い申し上げます

【担当部署】公益社団法人 日本看護協会

健康政策部 助産師課

小野、宮崎、阪本、山西

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

TEL. 03-5778-8843 / FAX. 03-5778-8478

E-mail : josanshi@nurse.or.jp

2019年度 小児在宅移行支援指導者育成研修 募集要項

1. 開催の意図

周産期医療体制整備や医療技術の進歩による未熟児や低出生体重児の救命率の向上とそれに伴う NICU/GCU の長期入院児の増加により、児の在宅移行支援や在宅での療育・療養支援の体制整備が求められています。国では、小児を地域で受け入れるための訪問診療・訪問看護における人材育成を実施していますが、医療機関の看護職に対する小児在宅移行を推進するための人材育成の機会はほとんどありません。小児在宅移行を推進するためには、病院に勤務する看護職に対する指導者育成は必須です。

このことを背景に、日本看護協会では、平成 28 年度には「NICU/GCU における小児在宅移行支援パスと教育プログラム」（以下、支援パスと教育プログラム）を開発し、平成 29 年度には、支援パスと教育プログラムを活用できる看護師育成のために「小児在宅移行支援指導者育成試行事業」として総合周産期母子医療センターに勤務する看護職を対象に研修を開催しました。平成 30 年度には地域周産期母子医療センターの看護職にも対象を拡大して研修を開催し、これまでに 290 名が参加しました。本研修により、研修修了者の所属施設では、支援パスの導入への取り組みが増えており、研修修了者が指導者として小児の在宅移行支援を推進するために有効な活動を実践していると考えられました。

今年度は、支援パスと教育プログラムの活用推進にむけて、さらなる指導者の育成と継続した研修開催の検討のために本研修を開催します。

2. 目的

所属施設の現状に応じ、小児在宅移行支援に必要な実践能力強化のための教育プログラムや在宅移行支援パスを導入・活用できる人材（指導者）を育成する。

3. 会場

秋葉原コンベンションホール（東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル 2F）

4. 参加費

無料

5. 日程

集合研修①：2019年8月1日（木）～8月2日（金） 9：00～17：30

集合研修②：2019年11月22日（金） 10：00～16：30

①と②の間に近隣の訪問看護ステーション等で1例以上の見学実習（同行訪問）を行う

6. 対象

以下の1)～3)にすべて該当すること

- 1) 総合・地域周産期母子医療センターのNICU/GCU等に勤務している、又は勤務した経験がある5年目以上の看護職
- 2) 3日間の集合研修に継続して出席可能
- 3) 集合研修①と②の間に訪問看護ステーション等で1例以上の同行訪問の実習が可能

7. 定員

200名程度

8. 研修内容（別紙参照）

【恐れ入りますが、貴院で以下について調整をお願いします】

※訪問看護ステーションの選定や依頼、実習日の設定、実習方法の検討、必要書類の作成（必要時）等については、貴院が訪問看護ステーションと調整してください。

※謝金等については、貴院または訪問看護ステーション等の規定に沿ってお支払いください。

9. 募集期間と申込方法

募集期間：2019年5月7日（火）～31日（金）

申込方法：・web フォーム（本会HP掲載）にてお申込みください。

※必要事項：参加者氏名、メールアドレス、所属（施設名、部署名、職位、職種、住所、電話番号）、NICU/GCUにおける経験年数（web フォームの備考欄にご入力ください）

・申込み確定メールは6月5日（水）頃にお送りする予定です。

10. 修了証

修了証は3日間の集合研修の出席および実習記録を提出した方に発行します。

（11月22日（金）にお渡しします。）

11. 連絡先

公益社団法人日本看護協会 健康政策部助産師課（小野・宮崎・阪本・山西）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

電話番号： 03-5778-8843

E-mail: jna_josan@nurse.or.jp

12. プログラム

1) 集合研修

月 日	時間		内容		講師(敬称略)
8 月 1 日	9:00~9:20	20		オリエンテーション	事務局
				あいさつ	会長
				趣旨説明	担当理事
	9:20~10:50	90	講義	日本の新生児医療の現状と課題 -NICUから在宅に移行する児の特性と発達支援-	田村正徳
	11:00~12:30	90	講義	医療的ケアを必要とする子どもの成長発達に応じて必要な保健・医療・福祉制度	沢口恵
	12:30~13:30	60	昼 食		
	13:30~14:30	60	講義	退院支援の評価と診療報酬	吉川久美子
	14:40~15:40	60	講義	医療的ケアが必要な子どもの退院と家族形成支援-小児在宅移行支援に携わる関連職種、関連機関の連携と調整-	出口さとみ
15:50~17:20	90	講義 演習	【演習1】日本看護協会版「NICU/GCUにおける小児在宅移行支援パスおよび教育プログラム」について	事務局 ファシリテーター	
17:20~17:30	10	事務連絡		事務局	
8 月 2 日	9:00~9:10	10	出欠確認・事務連絡		事務局
	9:10~10:10	60	講義	医療的ケアを必要とする子どもの受容と療育に関わる家族の心理	坂井玲奈
	10:20~11:20	60	講義	小児在宅移行支援に伴う倫理的問題への対応	井上みゆき
	11:30~12:00	30	講義	NICU/GCUにおける小児在宅移行支援と指導者の役割	小嶋飛鳥
	12:00~13:00	60	昼 食		
	13:00~15:00	120	演習	【演習2】小児在宅移行支援に伴う意思決定支援	市川百香里 ファシリテーター
	15:10~16:10	60	講義	医療的ケアが必要な児の退院と家族形成支援-訪問看護の実際-	田中道子
	16:20~17:20	60	講義	小児在宅移行支援における在宅療養支援診療所の役割	高橋昭彦
17:20~17:30	10	事務連絡			
11 月 22 日	10:00~10:10	10	オリエンテーション		事務局
	10:10~12:00	110	演習	【演習3】同行訪問実習における情報共有会	ファシリテーター
	12:00~13:00	60	昼 食		
	13:00~13:30	30	講義	小児在宅移行を支援する看護職のための教育プログラムの導入	加藤美也子
	13:40~15:40	120	演習	【演習4】所属施設での在宅支援パスおよび教育プログラムの導入・活用における課題の明確化と解決策の検討	ファシリテーター
	15:45~16:30	45	修了式・終了		担当理事 事務局

2) 見学実習

(1) 目的

- ・NICU/GCU から退院した医療的ケアを必要とする児(準超重症児)の在宅における療育生活の実際を知る
- ・在宅療養支援に関わる看護師の役割を理解する

(2) 実施日：集合研修①終了後、集合研修②開始までの期間

(3) 実習先の選定

- ・小児を対象とした訪問看護を行っている近隣の訪問看護ステーション等
- ・訪問看護ステーションにおける同行訪問がかなわない場合には療育センター等における見学でもよい

(4) 方法

- ・小児を対象とした訪問看護を行っている事業所の訪問看護師と、1例以上同行訪問をする。
- ・訪問対象者は、NICU/GCU から退院した医療的ケアを必要とする児(準超重症児)が望ましい。
- ・実習終了後は実習記録を提出する。